

肌で感じた異文化体験!

第8回 中学生海外派遣

町では、21世紀を担う子どもたちに、国際感覚を身につけてもらおうと平成11年から中学生を海外に派遣しています。

今年も8月11日(金)から18日(金)までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

参加した生徒たちは、「ホームステイ」や「体験学校訪問」を通して外国の文化や歴史、生活習慣などに直接触れ、「コミュニケーションの大切さや国際理解のための英語力など貴重な体験をしました。

参加した生徒の皆さんに海外派遣のアンケートをとりましたので、ここで紹介します。



ケアンズステイト・ハイスクール中庭で記念写真



不安と期待を抱きながら…ホームステイ先へ

■全日程表

	月/日	宿泊地等	スケジュール
1	8/11(金)	上三川町 成田空港	午後2時出発後成田空港へ 空路、オーストラリア・ケアンズへ(機中泊)
2	8/12(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホームステイ・オリエンテーションとホストファミリーとの対面式
3	8/13(日)	ホームステイ	ホストファミリーデー
4	8/14(月)	ホームステイ	体験学校訪問
5	8/15(火)	ホームステイ	体験学校訪問
6	8/16(水)	ホームステイ	グリーン島研修 夕食はお世話になったホストファミリーとサヨナラパーティ
7	8/17(木)	市内ホテル泊	キュランダ村の1日研修
8	8/18(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ バスで成田空港から上三川町へ

参加者

■本郷中学校

黒野 須 弘
木 沢 貴 吾
鶴 村 真 耶
白 見 沙 千
藤 土 可 奈
田 朋 子
白 朋 実

■上三川中学校

開 沼 和 紀
吉 澤 勇 人
志 鳥 紗 彩
佐 藤 史 織
高 草 木 真 彩
國 谷 未 彩
若 林 来 歩
根 来 香

■明治中学校

伊 澤 麻 衣
川 上 直 香
山 崎 佑 香
新 海 さ や
永 野 桜 か
石 塚 美 子
上 野 友 梨
姥 野 香 乃
姥 野 梨 乃

団 長

鈴木 孝
(上三川中学校教頭)

引 率

渡辺 友見子
(明治中学校教諭)

事務局

伊澤 純夫
(教育委員会)

今回の研修にあたってのアンケートは、

- ① 一番印象に残っていることは？
- ② この研修で学んだことは何ですか？
- ③ 今後どう生かしていこうと思えますか？

と参加した中学生に3つ質問を回答していただきました。

校生活にもつなげていきたい。そこから、将来に進められればいいなと思う。

本郷中学校 木村 沙耶

① ホームステイです。毎日英語ばかりで大変だったけど、とても楽しい毎日でした。

② 違う国の人とのコミュニケーションです。言葉が違うからこそコミュニケーションを学べました。

③ このすべての体験を今後、いろんな人に紹介していきたい。また、英語授業は積極的に受けていきたいです。

本郷中学校 鶴見 千歳

① 毎日、ホームステイ先の家の庭にあったトランポリンで、子どもたちと遊んだこと。笑いがたえなくて楽しかった。

② オーストラリアの人たちの温かさや明るさ。ちよつとしたことでも気にかけてくれた。私も見習いたいと思った。

③ 自分たちの英会話力がよく分かった。これから、もっと自分のポキャブラリーを増やして、将来役立てたい。

本郷中学校 白土 可奈子

① グレートバリアリーフについて教えてと聞いたら言葉が通じて、写真を見せてくれるが教えてくれたことです。

② 周りにたくさんさんの心温かい人がいて、

一人ひとりが助け合って生きていることを学びました。

③ 友だちや先生、自分が生きている中で関わっている人に感謝の気持ちをもち、接していきたい。

本郷中学校 藤田 朋実

① 現地の学校へ行ったこと。オーストラリアの学校制度を知り、コミュニケーションもとれてよかったと思う。

② なかなか言葉が通じなくて、一生懸命伝えようとすれば、伝えられるという。学ぼうとする意欲を持つこと。

③ 自分の英語力をもっと高めて努力をしたり、何でも積極的に取り組みたいです。

上三川中学校 開沼 和紀

① ホームステファミリーと海が見える公園で食事をしたことです。

② この研修で学んだことは、人とのコミュニケーションの取り方や人との接し方です。

③ この研修で学んだものを活かすために、通訳や国際的な仕事に就き、自分のために役立てたいです。

上三川中学校 吉澤 勇人

① キュランダ村でのブーメラ

ン投げです。うまく戻ってきたので、とても嬉しかったです。

② まず、自分の英語力が足りないことです。うまく会話ができないことが分りました。

③ 手伝いをもっとするなど、学んできたことを、普段の生活で生かしたいと思えます。

上三川中学校 志鳥 紗彩

① バディと別れるとき、「I miss you」と言ってくれたこと。2日間の交流で本当に友だちができて嬉しかったこと。

本郷中学校 黒須 貴弘

① 日本人が多く、日本語が通じたり、日本語の表示等が多かったので、最初は、海外に来た実感が全くなかった。

② 英語の聞く、話すことや、様々なコミュニケーション方法。また、自分が代表になったときの責任の重さなど。

③ 自分が何かの代表になった時に、責任を持って行動したい。様々な人とコミュニケーションを、積極的に行いたい。

本郷中学校 野沢 真吾

① ホームステファミリーとおわかれ会で、僕たちが演技を見せた後に拍手をもらったとき、拍手が大きかったこと。

② 人とのコミュニケーションを大切にすることで会話が弾み、その人との関係がもっと深くなること。

③ 私生活につなげるようにし、また、学

モーニングティーの時間にバディとの歓談



高校生たちと調理実習





先住民族アボリジニーとの交流

興味津々、いざキュランダ村へ



②積極的に会話をするこの大切さ。ホストファミリーもバディとも、たくさん話すことで分かり合えることができた。

③家族、友だち、近所の人、周りの人、全員に積極的にあいさつをしようと思う。これで海外に行っても大丈夫。

上三川中学校 佐藤 史織

- ①オーストラリアの人が、みんな身振り手振りで話しかけてくれたこと。
- ②言葉が通じなくても、心で話すことができるということ。
- ③普段の会話から心で話せるようになっていきたい。

上三川中学校 高草木 彩

①学校訪問です。みんなとても明るくて、Eメールのアドレスも教えてもら

ったりしました。

②積極性が大切ということ。話しかけられるのを待っていないで、自分から話しかけるのが大切だと思います。

③会話中につまずいてしまう事があったので、分からなかった事を振り返り、より知識を深めていこうと思います。

上三川中学校 國谷 真由

①オーストラリアに、日本のおもちゃ、スポーツなどの文化がたくさんあったこと。

②積極的にたくさんのお話を学ぼうとする姿勢が、とても大切だということ。

③何をするときにも恥ずかしがらず、積極的に行動を起こしていけるようにしていきたい。

上三川中学校 若林 未歩

①学校訪問です。バディやたくさん生徒とたくさん話して仲良くなれたこと、学校の大きさに驚きました。

②気持ちを伝える事の大切さです。あまり話せなくて単語だけで必死に説明して通じたとき、そう思いました。

③この海外派遣で自分に自信が持てたと思えました。これから、英語力を向上させて、国際交流に役立てたいです。

上三川中学校 根来 彩香

①学校訪問です。日本の学校では考えられないような事がたくさんあり、とてもびっくりしました。

②お互いの言葉が分からなくても、行動次第でどんな人とも仲良くなれてしまうということです。

③現地で学んだ英語を使って、積極的に身近な外国人と会話をし、英語力を高めていきたいです。

明治中学校 伊澤 麻衣

①ホームステイ先での生活が、一番印象に残っている。家族と一緒に過ごした日々がとても楽しかった。

②文化や言葉が違ってても、同じ人間なんだという事を学んだ。みんな温かい人たちばかりで、とても幸せだった。

③ケアンズステート・ハイスクールの生徒たちが積極的に声をかけてくれたので、私たちも恥ずかしがらないようにする。

明治中学校 川上 直美

①初めて英語で話ができただこと。間違っていないかと心配したけれど、通じたときは、すごく嬉しかった。

②言葉が通じなくても、伝えようとする気持ちと、聞き取ろうとする気持ちで、分かり合えるということ。

③やっぱり、日本はとてもよいところだと思った。なので、今後は、自分の

るさとても大切にしたいと思います。

明治中学校 山崎 佑香

①バディのミッシェルと別れるときに、「My best friend」と言ってくれたので、とっても嬉しかったです。

②オーストラリアは、水がとても貴重なものだと、ということを知り、また、生活の違いに、とてもびっくりしました。

③オーストラリアで学んだ表現力の豊かさを生活に生かして、今後も英語の勉強をもっと頑張っていきたいです。

明治中学校 新海 さやか

①ホームステイ先で、日本とオーストラリアの生活習慣の違い、とても大変だったこと。

②日本とオーストラリアの文化や生活習慣の違い。

③友だちに、オーストラリアへ行って学んだことや知ったことを話して、外国へ興味を持ってもらいたい。

明治中学校 永野 桜子

①学校訪問です。日本の学校と授業の仕方が違ったり、習慣が違ったこと。

②日本との生活や、習慣、文化などの違いも分かりました。

③外国を調べる時の調べ方や、家の手伝いなどで活用したい。

明治中学校 石塚 美里

- 1 バディと一緒に授業を受けたときに、いろいろと話をしたこと。
- 2 文法だけではなく、実際に会話の中で、英語を身につけていくことが大切だと学んだ。
- 3 リスニングの力をつけるためにも、外国の人といろいろと話をしてみたい。

明治中学校 上野 友梨香

- 1 グリーン島。あんなにきれいな海は初めて見ました。風景画のようで、とても感動しました。
- 2 英語が完璧でなくても、会話ができること。必死に伝えて通じると、心が通ったみたいで嬉しかった。
- 3 もっと英語を磨いていきたいと思えます。通訳ができるくらい上達して、ジエスチャーなしで会話してみたい。

明治中学校 姥 まりな

- 1 ホストファミリーの優しき。私たちが何か話すときは、手を休めて真剣に聞き入ってくれたことが、印象的でした。
- 2 上手に話せなくても、コミュニケーションはとれる。大切なのは、伝えようとする姿勢なのだという事。
- 3 人の話を、真剣に聞くことの大切さを忘れない。

我が国の教育の優れた点を再認識

団長 鈴木 孝 (上三川中学校教頭)

平成18年度上三川町中学生海外派遣事業に協力をいただいた、ケアンズステイト・ハイスクールは、ケアンズ市内では人気のある学校で、国際交流活動に積極的に、語学研修や長期留学生をたくさん受け入れています。

派遣生徒22名は在校生とペアになり、英語の授業等に参加し、英語力の向上と国際感覚の醸成に努めました。私にとっては、教育内容の国際比較ができ、意義あるものとなりました。受け入れるべき内容がある反面、時間割に清掃時間がないことから美化意識が低く、校舎内に菓子袋が散乱していること、生徒は自教室がなく、授業ごとに決められた教室に移動するため、時間にルーズであること、さらに、授業中に物を食べている生徒がいたことなど、我が国の教育の優れた点を再認識しました。

派遣生徒が異文化をどう受けとめ、どう生活に生かしていくか、今後の生活で表現してくれればと願ってやまないところです。



グリーン島で鈴木団長と一緒に… (上列右端)

報 告 会

8月25日(金)に報告会が行われました。

貴重な体験をした中学生たちは、「日本の米が一番おいしい」、「日本が一番住みやすい。」など自分たちの住んでいる日本を、改めて見直したようです。

また、日本の文化について尋ねられることが多く、「上三川町代表として、もう少し上三川町について、勉強をしていけばよかった。」、「日本の文化を理解していないことを恥ずかしく思った。」など日本文化についての質問に、うまく対応できなかったことについて、改めて反省していました。

これからの課題として報告会の中では、

- ①英語の勉強をし、英語力を高め、コミュニケーションを図るようにしましょう。
 - ②日本の文化を見直しましょう。
- と課題点があげられました。

最後に、派遣された中学生たちは、「この研修に参加でき、研修に関わってくれた皆様に感謝します。ありがとうございました」と報告がありました。



貴重な体験を報告する生徒たち

▼問い合わせ先＝教育総務課 総務係 ☎69155